



BRAND CONCEPT

THE HISTORY OF MASHIKAKU

Masato Yamaguchi
Brand Producer of MASHIKAKU

真
四
角

THE HISTORY OF MASHIKAKU



江戸から現代へ

プロダクトデザインに適した漢字書体

インテリア・ファッション・建築など、デザイナーがデザインをするとき、アルファベットを選択するケースが多い。

洗練された、スタイリッシュな書体があれば日本語のデザインがもっと増えるのではないかと

という思いから真四角書体の開発がスタートしました。



Masato Yamaguchi : Brand Producer of MASHIKAKU

山口真人 Art director

2003年法政大学を卒業後、アート&デザインスタジオ「アイデアスケッチ」を2008年に設立。グラフィックデザインを中心に、VI、CI、アートディレクション、グラフィック、WEBなど、多様な領域で活動をおこなっている。東京の価値観を軸に現代美術の作品をサンプリング、マッシュアップした「Plastic Painting」のシリーズが話題を呼び、”Affordable Art fair NYC” “Scope Miami Beach” など、海外アートフェアに参加。2014年に東京“Plastic Painting”、2016年にニューヨークで“MADE IN TOKYO”の個展を行っている。同年「真四角」プロジェクトをスタート。

江戸時代の美意識を現代に

明治以降東京では欧米の文化を取り入れることに躍起になり、特にファッションやインテリアでは日本語の漢字を使用する機会が少なくなってきた。東京を見渡しても目につくものはアルファベットが多い。私は日本の伝統的な感性を日常の中に感じられる世の中にできないかと考えていた。

そんな時江戸時代につくられたタイポグラフィ「角字」を発見した。角字は直線、直角のみで構成されたタイポグラフィだ。そこには江戸時代の職人達が生み出した、ミニマルでスタイリッシュな感性が秘められていた。私はスタイリッシュな漢字書体があれば、漢字はファッションやインテリアを通じて生活に身近な存在になるのではないかと考えた。こうして書体開発はスタートし、真四角は江戸時代の美意識を継承しながらモダンプロダクトに合う、洗練された3000字を超えるタイポグラフィを生み出した。

真四角は現在は日本の伝統工芸とのコラボレーションを積極的に行い、日本の伝統をモダンに伝えていく雑貨ブランドに発展をした。生活を彩り、伝統を身近に感じられる世界を目指し、日々プロダクトを開発している。

真

四

角

HEAD OFFICE

IDEASKETCH,INC
#3F, 6-5-28 Minato-ku, Akasaka
Tokyo, Japan 107-0052
www.ideasketch.jp